

2013
9/30
大文字亭

右馬允だより

残暑が続く蚊が元気が。寒朝は時々半袖では少し涼しいかな...くらいで過ごしています。とはいえ草木はジリジリと果て庭のすみにも少し秋色になり雑草の種が乱れ飛ぶ。稲も全て刈りとられ赤とんぼが舞い天は高く夜空の星たちもきれいに光ります。静寂な9月が始まったのはとうとう30日と前のこと。例年より遅めに落ち始めた栗が勢いよくトタン屋根にぶつかっていき一際大きく響き出す。友子母の土着がやって来た。朝目覚めると同時に開始栗拾い。朝食を済ませるとその栗をゆでます。一時間後その栗を半分に切り中身をスプーンで取り出し利鉢とすりこぎを用意してつぶしていきます。ここで助人が入ると母も栗拾いの仕事をたんとする時には一人でつぶしていかねばならずかなりの重労働となります。多少つぶつぶが残る程度に搗って砂糖を適量入れ丁寧に交せる。ここが難しいところ。母氏からこそとせるベテランの技です。30gずつ小分けにして冷蔵庫に収納

これを一仕事と終る訳で毎日毎日繰り返しました。玄米の目の前の二本の栗の木は節子大おはあ様から引継いだ代々自慢の木で母とおぼと愛着があるらしく熱心に拾います。もう大体終わっているのに草をとかし危ない所まで行って拾い続け今朝もビニール袋がふくらんでいます。今日は正介が美容院へお連れしていますので明日の仕事として置いてあるようです。今年もしつかりました。来年もどうぞよろしくお預かり致します。



同級生Sさんと中央構造線を歩く旅(今回はさいたま市のサンテ。諏訪市の順ちゃん。サポート役に私も一緒に14日早朝(といっても7時)右馬允から出発しました。

右馬允SK 遅延長崎駅で懐かしい再会(殊にSさん)おしいことといたすSK 安康露頭見字 ← 日本屈指のツオパーク一見の価値多いに有り。せむ一度!! SK 地蔵峠着-昼食: 都合上女衆は上村、和田に向う清次さんを見送り右馬允は戻り解散。この日は秋晴れのウォークとす日としたが15日は朝から台風がとてい雨降りとなり昨晚和田の大島旅館に夕:00過ぎに着いたという清次さん。今回はこれにて打ち切り奈野に帰っていかれたとのこと。この雨で山のキノコはさくらめじとちしめじがワサワサ採れ大喜ぶの息子たち。松茸も採る。